



のぞみ 希望

学校
ホームページは
こちら



学校ホームページアドレス <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/sugita/>

全力・協力 150周年をつなぐ子どもたち

校長 藤崎 健児

10月21日(土)に杉田スポーツフェスティバルを開催しました。今年度のテーマは「杉田魂～協力・全力～150周年をつなげよう」です。これまでと同様に第1部と第2部の分散開催とし、第1部は1・4・6年生、第2部は2・3・5年生が学年ごとに演技、徒競走などを行いました。演技を披露するのは全校で行っていた平成30年度の杉オリンピック以来、5年ぶりになります。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための様々な制限が解除された今年度は、体育科学習のねらいを踏まえ、子どもたちが運動の楽しさを十分に味わうことを目標に、学年ごとに演技を披露することとしました。



1年生は軽快なリズムに乗って元気よく踊りました。体を動かす楽しさが伝わってきました。2年生は動物になりきって踊りました。動く速さや方向、リズムを変えて工夫して踊る姿が見られました。3年生は忍者になりきって素早く移動したり、リズムに乗ってダイナミックに体を動かしたりしました。笑顔がはじけ「楽しい」という気持ちが伝わってきました。4年生は旗を巧みに操作しながら移動する演技でした。友達とそろえることも意識し、旗が風を切る音がひとつになって会場に大きく響きました。5年生は日本の民踊や外国の踊りの特徴を捉え、音楽に合わせて踊りました。子どもたち自らが動きを考えて演技に取り入れました。自信のある笑顔が見られました。6年生は「巧みな動きを高める運動」としてなわを使った運動を披露しました。短いなわを使った個人技や長なわを2本使ったダブルダッチなどを披露しました。ともに見合い教えあいながら、児童が自ら構成した演技を披露しました。

徒競走では友達と競い合いながら、低学年はまっすぐに走ることに、中・高学年は曲線も調子よく、そして全力で走ることを楽しみました。

応援団は息の合った力いっぱいのパフォーマンスを披露しました。各ブロックの最初のプログラム。「みんな全力で協力しながらがんばろう！」と全力で応援しました。最後に行ったリレーではダイナミックな走りや巧みなバトンパスが見られました。すべての選手が最後まで全力を尽くしていました。応援団もリレー選手も練習をした成果がしっかりと表れていました。

今年度150周年を迎えることを記念して、1部と2部の間に特別プログラムとして校歌を歌いました。そして「わくわく全力チーム(1・4・6年生)」と「心合わせて協力チーム(1・3・5年生)」の2チーム対抗の大玉送りをして150周年をお祝いしました。低学年から高学年までが1つの玉を協力して転がし、大接戦となりました。どのプログラムでもスローガンの通り全力で取り組む姿、そして友達と協力して楽しそうに活動する姿が見られました。

保護者の皆様には児童の健康管理、名札・入校証の着用、参観における譲り合い、入退校の門の制限など多大なご協力をいただきました。ご不便をおかけしたこともあったと思います。ありがとうございました。また、アンケートでは「子どもたちが杉田スポーツフェスティバルに向けて意欲的に取り組んでいた。」「演技や徒競走に友達と仲良く活動していた。」との多くのご回答をいただきました。杉フェスに関する様々なご意見もいただきました。参考にしながら学校教育目標「学校大好き このまち大好き 杉田っ子」の具現化を柱に、改めてこれからの杉田小学校の運動会の在り方についてしっかりと検討してまいります。

保護者の皆様、地域の皆様、そしてPTA役員および委員、おやじの会の皆様のご協力のおかげで150周年記念の杉田スポーツフェスティバルが盛大に開催できました。あらためて感謝申し上げます。

